

スポンサー様

2010 quakysense IJSBA World Finals

開催場所

アリゾナ州,レイクハバスシティ

開催日

10月3日～10日

結果

アマチュアスキーライツ 予選 Heat#1 : 1 位
決勝 Moto#1 : 1 位
決勝 Moto#2 : 1 位
総合 **ワールドチャンピオン**

ジュニアスキーライツ 予選 : 1 位
決勝 Moto#1 : 2 位
決勝 Moto#2 : 1 位
総合 **ワールドチャンピオン**

ジュニアスキーリミテッド 予選 : 6 位
決勝 Moto#1 : 8 位
決勝 Moto#2 : 2 位
総合 **3 位**

ジュニアスキーストック 予選 Heat#2 : 5 位
決勝 Moto#1 : 5 位
決勝 Moto#2 : 6 位
総合 **4 位入賞**

2 × World Champion 獲得!!

アマチュアスキーライツ

このクラスが僕の出場した4クラスの中でも1番最初のレースでした。このクラスは出場人数が多く、決勝がフルグリッドで18人なのに対し26人エントリーがあった為、予選がHeat#1とHeat#2に分かれてLCQもありました。今回僕はHeat#1でした。迎えたHeat#1ではアウトコースからのスタートだったのですが、加速は良かったものの中速から高速にかけて周りより劣っていたため、6台中5位で1ブイへ。そこから合流までに3台抜き、合流後にも1台抜き、2位でホームストレートにかえってきました。その後もう1台を抜き1位でフィニッシュ。決勝へ駒を進めました。決勝Moto#1はインとアウトを悩んだ結果アウトをチョイスしました。スタートは完璧に出遅れたものの合流までに巻き返し3位で合流。ホームストレートでもう1台抜き、その後の周回でもう1台も抜くことができたので1位でMoto#1を終えました。翌日に行われたMoto#2でもスタートはアウトコースをチョイス。スタートを完璧に決め、ホールショットを獲得。1位で合流し、そのまま逃げ切ることが出来たため1位でチェッカーフラッグをうけました。

ジュニアスキーライツ

このクラスは16人のエントリーだったためフルグリッドでのグリッド予選が行われました。今回初のイン側からのスタートでした。ホールショットを獲ることができ、そのまま1位で合流。順位も変わらずトップフィニッシュでした。Moto#1でもインコースをチョイス。ホールショットを獲れず、インの2位の合流で3位。その後1台しか抜けず2位でゴールしました。チャンピオンになるためには絶対にMoto#1で1位だったライダーの前でゴールしなければいけないことから、Moto#2ではMoto#1で1位だったライダーの逆をチョイス。アウトのホールショットを獲れたのですが合流で2位。1位がミスをするまでずっと待ち、ミスした一瞬を狙ってパスをして1位に浮上。その後2位以下を離していきトップフィニッシュしました。

ジュニアスキーストック

このクラスは予選があり、僕はHeat#2でした。8人中6人決勝進出のうち、僕ともう1人だけが2stで残りの6人はS4でした。今回のクジ運は悪くアウトの大外からのスタートでした。アウトの3位で合流し、5位でホームストレートを通過しました。そのままの順位でゴールしなんとか予選を通過しました。迎えたMoto#1では16台中14台S4、1台SJ、もう1台は僕と、僕を含めて2台のみが2stでした。イン側からのスタートで、イン側8台中5位で1ブイを曲がり合流までに1台をパスしました。その後8位で合流し最終ブイで2台をパスしたため6位に浮上しました。そのまま抜かれず6位でのゴールとなりました。Moto#2ではインの一番イン側からのスタートでした。インの3位で合流し、5位で最終ブイを曲がりました。その後1台を抜いて4位に上がったものの、最終ラップで抜き返されてしまい5位でのゴールとなりました。

ジュニアスキーリミテッド

ほんとはストックとリミテッドはS4で出場する予定でしたが、ボートの準備がストックのレース日までには間に合わず、リミテッドのみS4での参戦となりました。リミテッドクラスで使うS4は、ドバイでお世話になったマックトゥーン氏からレンタルできることになり、今大会初のS4でのレースとなりました。今回のリミテッドは土・日曜に行われたのですが、土曜は普通だったものの、日曜は風が吹いてとてもチョッピーパーな水面となりました。土曜に行われたグリッド予選では、インコースの大外からのスタートでした。スタートが少し出遅れてしまったものの、何とか巻き返し合流では5位まで上がりました。その後4位まで上がったものの、接触があり6位まで順位が落ちてしまいそのままゴールとなりました。Moto#1では荒れた水面の中、1周目で潜った時に手を離してしまい、乗り込んで再スタートしたときにはトップと半周以上の差がついていました。そこから1台ずつ追いついていきゴールした時には16位から8位まで上がっていました。今大会最後のレースとなったMoto#2では、スタートを上手く決めホールショットを獲り、そのまま1位でホームストレートを通しました。最終ラップまではトップを走っていたものの、少しの気の緩みのせいで最後の最後で抜かれてしまい2位でのフィニッシュとなりました。

レースを終えての感想

今大会はスポンサーのサポートによって、全てのクラスをスポンサーが現地で用意したレーシング艇で走りました。自分の船ではないので色々大変なことや苦労する場面がありましたが、なんとか全てのレースを怪我なく無事に終えることができ、また、「**2 Times World Champion**」という結果を残せたことに関してもとても嬉しく思っています。

今回のワールドファイナルを通して去年よりも更に沢山の方々に応援頂き、知名度も上がりました。ワールドチャンピオンを獲ったという事もそうなのですが、自分から積極的に外国人に英語で話しかけ、その結果外国記者から英語でインタビューを受けたり、ハバスのローカル新聞に2日連続で僕の事を書いた記事が掲載されたりしました。また、DJの方とも仲良くなった事によりレース前やレース中、更には会場を歩いている時にも呼び止められ、マイクで僕の紹介等を何度もしていただきました。このような事をして頂き、改めて「ナーバスになっちゃだめだ!自分から積極的に行かなきゃ!!」と思えるようになりました。

僕の次の目標はキングスカップでチャンピオンを獲ることです。しかし今回同様上手いかわない事だらけだと思いますし、また今までタイに行った事がないのでとても不安な事ばかりです。そんな「未知の場所」でも結果を出せるように頑張りたいと思いますので、今後も応援の程宜しくお願いします。



Team WPS Japan

1 小原 聡将